



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2014-2015年度 R I 会長 ゲイリー C.K. ホアン



第2590地区 ガバナー
大野 清一

- 会 長 山田 正憲
- 会長エレクト 江森 国一
- 副 会 長 天野 公史
- 副 会 長 鴻 義久
- 幹 事 植田 清司
- 副 幹 事 朝日 達夫
- 会 計 渡 邊 淳
- 副 会 計 白井 康夫
- S A A 小山市 康
- 副 S A A 長井 章
- 副 S A A 青柳 紀
- クラブ会報 竹山 洋



写真提供 小池将夫会員 (平成 27 年 3 月 18 日撮影)

- 事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第 5 金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場 ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日
- U R L <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2014-2015年度 第34週報 No. 1875 2015年(平成27年) 3月13日 第1875回例会記録 3月20日発行

司 会 朝日 達夫 副幹事

誕生日祝 田中龍太郎 会員 (3月18日)

点 鐘 山田 正憲 会長

斉 唱 「我等の生業」

四つのテスト 角田 伯雄 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ビジター紹介 神奈川 R C 金野 克佐 様



本日〈3月20日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「それこそロータリー」
- ◆ 献 立 牛サーロインステーキ リヨネーズソース
- ◆ 卓 話 「ゴッホが心酔した浮世絵
—ゴッホコレクション—」
株伊東工務店 代表取締役社長 伊東 淳子 様
(紹介者 佐藤 勝彦 会員)

<<本日のBGM>>

「アイ・キャント・ゲット・スターテッド 外」



結婚記念日祝

山本 登 会員 (3月13日)



幹事報告

植田 清司 幹事

- ・本日、例会終了後に3月度定例理事会を開催致します。
- ・エクアドルへ留学中の伊藤主峰君からマンスリーレポートが届いておりますので回覧します。

委員会報告

職業奉仕委員会 委員/広報・IT委員会 委員長

白鳥 厚夫

「神奈川東RC会員同士のコミュニケーションをより良くし、充実したロータリーライフを送るための調査」をお手元に配布致しますので、4月末までに事務局 田中さんへ提出お願い致します。

目的は、会員同士の理解・コミュニケーションを良くし、より良いロータリーライフを歩み易くするためです。皆様の得意分野・関心事を教えてください。

- ①自分の得意な事、話をしてもいいこと
- ②今関心ある事・将来したいこと

またもう一つの目的は、あまり利用されていない神奈川東RCのホームページにある「Members Salon」に載せる予定で、皆様のパソコン・携帯電話から頻繁にアクセスして頂き、「Members Salon」を会員のコミュニケーションの場として活用して頂くためです。

出席報告

西山 潔 出席委員長

会員総数	55名	(33+22)名	
出席会員数	40名	(27+13)名	
出席率	86.96%		
ゲスト	0名	ビジター	1名
前回補正後	91.67%	前々回補正後	93.88%

スマイルボックス

小山 市康 SAA

田中龍太郎君 誕生祝い、ありがとうございます。

山本 登君 結婚祝い、ありがとうございます。

山田正憲君 ①加野さん、岡部さん、イニシエーションスピーチ、よろしくお祈りします。②古澤会員歓迎会参加の皆様、お疲れ様でした。金森委員長、ありがとうございます。

石川正三君 加野さん、岡部さん、今日のスピーチ、楽しみにしています。気軽にやって下さい。

河野明光君 加野さん、岡部さん、本日のイニシエーションスピーチ、楽しみにしています。頑張ってください。

角田伯雄君 加野さん、岡部さん、楽しみにしています。

植田清司君 先日は、古澤会員の歓迎会ご出席の皆様、ご苦勞様でした。親睦活動委員長の金森さん、大変お疲れ様でした。

長井 章君 ①古澤さん、一昨日は不参加でスママセンでした。②加野さん、岡部さん、イニシエーションガンバってください。

赤堀和人君 本日は、一番下の娘の卒業式でした。出席する予定でしたが、“来ないで”と言われました。“お父さんが来る子はいないよ”と言われ、本当ですかね？

竹山 洋君 岡部さん、加野さん、イニシエーションスピーチ、楽しみにしています。

友添辰哉君 ①古澤さん、歓迎会の後に何件か飲みに行きました。その都度忘れていた花束をよく家まで持ち帰りましたね。感心しました。②岡部さん、加野さん、イニシエーションスピーチ、頑張ってください。

白鳥厚夫君 ①山本住職、但野さん、オペラとお経の心温まる会、ありがとうございます。②クリスタルがHa1学園で金賞を取りました。おめでとうございます。③『神奈川東RC会員同士のコミュニケーションをより良くし、充実したロータリーライフを送る為の調査』よろしくご協力下さい。

金森欣一君 ①古澤さんの歓迎会にご参加の皆様、ありがとうございます。我クラブの会員の飲酒量をなめていました。今後はもう少しきちんと見積るよう致します。寛大なPPの皆様には、大変感謝致しております。②加野さん、岡部さん、イニシエーションスピーチ、楽しみにしています。

保坂一成君 加藤さん、先日はご馳走様でした。とても楽しい時間でした。また、よろしくお祈りします。

加野亮一君 歓迎会、お疲れ様でした。本日のイニシエーションスピーチ、よろしくお祈りします。

岡部雄一郎君 古澤さん、金森さん、先日はお疲れ様でした。本日はよろしくお祈りします。

古澤一憲君 水曜日は歓迎会ありがとうございます。美味しい料理と皆様の心遣いに感動致しました。どうもありがとうございました。

小山市康君 加野さん、岡部さん、本日のイニシエーションスピーチ、頑張ってください。どんな話が出るのか楽しみです。

3月13日	18件	48,500円
本年度累計		1,697,640円

イニシエーションスピーチ

卓話者 加野 亮一 会員



「土地家屋調査士」 の仕事

1. 土地・建物を取引する時
2. 建物を建てたり壊したりする時

自己紹介

昭和40年10月 岐阜県関市生まれ
名古屋大学農学部 入学
名古屋大 大学院 農学研究科 卒業

平成 2年 藤和不動産(株) 入社

平成10年 土地家屋調査士試験合格

平成14年 加野登記測量事務所 開業

平成20年 (株)アドフィールド 設立



経営理念

私達は
幸せのフィールドを拓げ
つながる人達 全ての
喜びを創造します

「杭」を残して
『悔い』を残さず

卓話者 岡部雄一郎 会員



株式会社鷹工業岡部、代表取締役 岡部雄一郎と申します。

昨年(平成26年)の4月に神奈川東ロータリークラブに入会させて頂き、約一年が経ちますが、まだわからないことだらけで、ロータリアン(先輩方)の話をお聞きして、理解するのがやっとの状態です。

今回、3月13日にイニシエーションスピーチを行う時間を頂き、緊張しているところであります。

今回の内容ですが、会社の業務内容、会社の歴史について、少し話をしたいと思います。まず業務内容ですが、首都圏を中心に大規模修繕工事を行う専門業者(塗装・防水)から、足場仮設工事を受注して、足場に関わるすべての内容を施工・管理しています。

大規模修繕工事とは、マンションにお住まいの方々の修繕積立費を利用した、10年~15年の間に行うリニューアル工事のことです。その為工事自体は、居住者さんの居るなかでの施工となり、新築工事(人が住んで居ない)とは異なる状況で工事を進めて行かなくてはなりません。特に小さい子供からお年寄りまで、危険レベルの高い人々の動きを監視して、また、誘導を行いながらの作業となります。弊社では特に100世帯を超える大型マンションの受注が多くあり、そこに(大きさ)使用する、足場資材の数量はかなり多くなり、保管場所もそれなりの大きさが必要となります。神奈川県羽沢町に350坪・220坪さらに相模原市南区に750坪の資材置き場を併設しています。

施工体制としては、弊社の社員で施工する2現場+協力業者の施工する10現場を年間の平均として工事を行っています。

次に会社の歴史として、有限会社設立を平成2年2月1日、株式会社社名変更を平成17年10月1日に行いましたが、鷹岡部としては、私(岡部雄一郎)で六代目になります。初代 岡部留吉、二代目 清太郎、三代目 由次郎、四代目 七郎、五代目 清、六代目 私となります。

初代留吉は、明治33年頃、反町(青木町)に遊郭が移転したあたりから反町遊郭に関わる仕事を始めました。置き場兼自宅は、現在の反町公園脇の前田建設工業横浜支店ビルあたりにありました。当時は滝野川が自宅前に流れてました。

昭和30年頃、四代目七郎が中心になり、現在の横浜西口駅前ロー

タリーの原型を作りました。当時、昭和29年6月に新築したての天理教横浜支部を壊さずに曳き屋(工法)によって、現在のバス停あたりから天理ビル(現在)まで下げ、横浜市と相模鉄道の都市周辺開発整備に大きく関わりを持ちました。

また、当時の国道1号線拡大整備にも曳き屋での仕事を数多く手がけた実績があります。

昭和31年頃には、青木町にある洲崎神社の本殿再建(戦争により焼失)に中心的に関わり、現在まで維持管理されています。

平成17年12月には、株式会社鷹工業岡部本社ビルが完成し、現在まで業務の中心的な役割をはたしています。この様に鷹岡部は明治時代~平成時代(現在)まで色々な鷹職(工法)として仕事を行い、遊郭の建て方、修繕に始まり、戦後は、曳き屋、高度経済成長時には新築土木基礎工事、新築工事全般、そして平成に入り、大規模修繕工事に伴う足場仮設工事と形を変えながらも鷹職として続けてきました。

今後も建設業中心の業務内容になりますが、ロータリークラブにも何かのお役にたてるよう、入会一年未満ではありますが、皆さま方にアドバイスを受けながら、一歩づつ前に進む覚悟です。

今後も宜しくお願いします。

2014-15 年度R 青少年交換学生 マンスリーレポート

Monthly Report / February 2015

Kazune Ito

Hola!! 日本のみなさん、こんにちは。

3月に入り、日本の季節はどう変化しましたか。冬の寒さが残りながらも、少しは春に近づいてきたのではないのでしょうか。卒業シーズンで桜が咲き始めているころだと思います。

6ヶ月が過ぎた派遣生活はもう折り返しです。

今月はテスト後の2週間の休暇を存分に楽しみ、また学校が再開してからも、日本人、ロータリーの派遣生として色々な活動に参加し、少なくなった派遣生活を存分に利用することができました。

*日本のこと

まずは、エクアドルにいる日本人として。

先月、在エクアドル日本大使館公邸新年会で知り合いになることができた方のお誘いで、キトにある日本人学校に講師としてボランティアに行く機会がありました。赤道記念碑の近くにある日本人学校は生徒数が少ないために、補習校という扱いになっているものの、建物は日本の学校と変わりなく立派で、土曜日の朝からの授業ということで、ラジオ体操を含んだ朝会から始まりました。

自分は、日本でいう幼稚園生のお世話係を担当しました。ひらがなを教えたり、読み聞かせをしたり、節分に因んで鬼の仮面を作って、豆まきをしたりと日本の文化に触れあうことを中心にした活動を行いました。

お世話をした子供たちはみんな色々な理由でエクアドルに住んでいて、日本人として生きていくうえで、日本語や日本文化を学ぶことはやはり大切なので、自分がそのお手伝いができるということは、日本文化を広めるためにエクアドルに来た日本人の派遣生として、有意義なことだと思いました。この日本人学校の授業は、ほぼ毎週あるらしいので、積極的に参加していきたいと思います。

他の日本に関するイベントとしては、cumandadという文化スポーツセンターで大使館主催の日本のカレンダー展覧会というものがありません。イベントは、エクアドル人へ日本文化紹介するためのものですが、せっかくなので自分もエクアドル人が日本文化にどのくらい興味を持っているのかを知りたかったので行ってきました。人は割とたくさん来ていて、日本大使館に届いた多くの日本のカレンダーが壁に飾ってあり、イベント初日だったこともあって、エクアドル人による剣道の稽古、日本酒の試飲、エクアドルにある折り紙クラブの作品紹介などの日本文化でイベントは溢れていました。自分はこの日まで、街中で日本文化まがいのものを見ることは多々あったのですが、エクアドルに剣道の道場などの日本文化が存在し、また人気があることを知りませんでした。

そのイベントに行ってもよかったことは、そのことを知れたこと、そして、エクアドルに住む日本に関係する方々と知り合いになれたことです。JICAで日本に来た女性や、エクアドルの観光庁で働く人などの、現在は日本と関わりのある仕事をしているわけではないものの、日本を愛する人達と知り合いになれて良かったです。

*休暇

まず1学期のテストが2週間にわたってありました。自分は、理解できている授業はできるだけ勉強をして、テストを受けましたが、いくつかの教科は、エクアドル料理のクラスとかぶっていることもあって、受けませんでした。結果はまあまあという感じでした。卒業までの残された日々をエクアドルの学生として、悔いが残らないように学べるだけ学びたいと思います。

そのテスト後にあったカーニバルに伴う2週間の休暇は、1日も家でゆっくり休む日がないほど、忙しく充実した日を過ごしました。休暇の初日は、ファーストホストファミリーがpapallactaという温泉地に連れて行ってくれたり、他の日には、今のホストファミリーがキトの博物館に連れて行ってくれて、エクアドルの歴史を学んだり、自分が行っている教会の友達と色々な活動を行ったりと、とても充実していました。

また、ホストマザーが3日間ほどの旅行を計画してくれて

Baños(バーニョス)という自然であふれる観光地とnariz del diablo(悪魔の鼻)と呼ばれる駅に向かう電車での旅に連れて行ってくれました。

Bañosは温泉や滝などが有名で、ラフティングやバンジージャンプなどのアウトドアの活動が楽しめる観光地です。自分はいくつか体験させてもらいましたが、値段もかなり安く、エクアドルの大自然を感じられる素晴らしい経験になりました。Bañosからは、電車の駅に向かうバスで2時間ぐらいかけて移動しました。毎回驚かされるのですが、エクアドルの交通費は日本とは比べ物にならないほど安いです。今回はたった2ドルしかかかりませんでした。この交通費の安さは、気軽に国内を移動できるという石油産出国(ガソリン4リットル150円)であるエクアドルの観光地としての最大の特徴の一つだと思います。

この旅をした3日間がちょうどカーニバルが始まり、終わる季節だったので、カーニバルの文化について少し説明したいと思います。カーニバルと聞くとブラジルのリオの派手な衣装で踊っている光景を想像するかと思います。しかし、エクアドルではカーニバルの季節になると、学校や通りで知らない人同士で水をかけあったり、小麦粉や卵を投げあったりする、ブラジルのそれとはかなり異なります。日本では考えられないエクアドル特有の文化ですね。死人やけが人が出たり、服を汚されたりすることから、あまりカーニバルが好きじゃないという人もエクアドル人の中にはいますが、一般的にはみんなカーニバルを楽しみ、かなり激しく遊ばれます。子供よりも大人のほうが楽しんでますし、Bañosに向かっている最中に、車に向かって水風船を何回か投げられたりもしました。自分としては結構楽しんだのですが、少々度が過ぎることもあったので、あまり好きにはなれませんでした。人との距離が近く心が広いエクアドル人だからこそできる文化だなと思います。

*派遣生として

2月最後の週は、学校が始まったことによって忙しくなっていくにもかかわらず、いくつかのイベントがあり、加えて週末には、ロータリーのミーティングで日本文化の紹介をしなければいけなかったために、その準備などでとても忙しい週になりました。

ホストマザーは大学時代にイスラエルで大学生活を送っていた経験があり、そのつながりで、24日には世界遺産であるla Compañía de Jesúsというキトの歴史区にある教会で、ホストマザーの知り合いで、エクアドルの大統領だったことがあるロータリアンのRosalia Arteagaについての本の売り出しに伴うイベントに参加させてもらいました。このイベントには、エクアドルの政府関係者や、色々な組織の重鎮の方々が参加している、とても格式の高いものでした。

本の紹介などがあった後、エクアドルの国立オーケストラによる演奏があり、久しぶりにクラシック音楽を聞けて、バイオリンを習っていた自分としては感激でした。

このイベントには、ロータリアンの方々もたくさん来ていたのですが、知り合いになる機会が残念ながらなく、チャンスを失ってしまいました。しかし、学んだこととしては、エクアドルでは、やはりロータリーは国にとってとても大切ということです。またチャンスがあるときは、自分がロータリーの留学生であるということをはっきり示して、知り合いになれたらなと思います。

続いて26日には、casa del holocaustoという、ユダヤ人が第2次世界大戦の最中にナチスからエクアドルに逃げてきたときに住んでいた家で、イスラエルの大学で教育学などを学んだ画家、作家、詩人のSonia Izquierdo de Williamsによる、24日にあったイベントと同様、発売される本の紹介イベントがありました。しかし、今回はホストマザーが食べ物や内装などを計画したものでしたので、息子として参加することが必須でした。このcasa del holocausto (ホロコーストの家)は、ユダヤ人の生き残りの人が建てた家ということで、下の階には、ナチスに追われていた時のトラウマから隠し扉があり、小さいスペースと食糧庫などの生きるための最低限の部屋があります。現在は家の所有者の娘に当たる人が家を管理していて、館内には、ナチスが行った虐殺の過程が詳しく説明しており、イスラエル関係のイベントがある際に利用されるみたいです。自分はエクアドルに来る前にエクアドルでイスラエル、ユダヤ人に関することを学ぶことがあったとは考えもしませんでした。世界はつながっていて、自分にとって学ぶべき歴史であるという風に感じました。

ロータリーの派遣生として、参加するためにブレザーを着ていったので、多くの方に声をかけてもらい、またその場に出席していたロータリーの方とも知り合いになれて、やはり着ていった甲斐がありました。そのロータリアンの方が例会に誘って下さったので、また機会があれば参加したいと思います。

2月最後の金曜日にはロータリーのミーティングがあり、

日本文化紹介のプレゼンをしなければいけませんでした。1週間前に、そのプレゼンをしなければいけないことを伝えられたので、少し時間が足りなかったのですが、当日までに何とかプレゼンを終わらせることができました。

また日本食について実際に食べて知ってもらうために、巻きずしとエビの天ぷらを作りました。発表は思ったよりもうまくいって、自分のスペイン語がかなり上達したことを実感しました。日本の四季、食べ物、宗教、原爆、ロータリーの活動などの事柄をなんだかんだ1時間ほど話してしまいましたが、ロータリアンの方々や留学生のみんなは飽きずに聴いてくれたので、日本の文化を伝えるという派遣生としての目的をいい結果で果たせたのは、とても良かったなと思います。

エクアドルに住んで、もうすでに6ヶ月もの月日が経ったのかと思うと、毎回レポートに書いています。本当に時間が過ぎていくのが早かったです。言語をほぼ習得したこれからは、今までよりもっと早く時間が過ぎていくのだと思います。短い時間を存分に満喫するため、ずっと習いたいと思っていたSalsaをこの頃習い始めました。新しいことを始めるのは何にしても楽しいもので、少し難しいですが、完璧に踊れるように頑張るって練習したいと思います。

《紙面の都合上、写真につきましては、次号にて掲載予定》

次回《3月27日》の卓話予定

テーマ 「日本生活問題研究所と昨今の情勢について」
一般社団法人 日本生活問題研究所 石塚 美和 様
(紹介者 矢野 修二 会員)

例会 4 回

2 月度出席報告

名譽会員 出席率算出除外会員

会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ
青柳 紀	100	75	加藤 仁昭	100	100	角田 伯雄	125	100	吉田 隆男	75	75
赤堀 和人	175	100	金森 欣一	125	100	友添 辰哉	125	100	吉橋佐千男	0	0
朝日 達夫	150	100	加野 亮一	125	100	長井 章	75	75	我妻 隆邦	0	0
天野 公史	225	100	小池 将夫	150	100	中野 真理	0	0	渡邊 淳	100	75
雨宮 和則	0	0	河野 明光	125	100	中村 真巳	0	0	富居 利貞	25	25
飯田 泰之	150	100	小山 市康	100	75	西山 潔	100	25			
伊澤 政宏	75	75	佐藤 勝彦	100	75	古澤 一憲	100	75			
石川 正三	75	75	澁谷 高弘	50	50	保坂 一成	100	50			
伊東 英紀	125	100	白井 康夫	25	0	茂木 知子	100	50			
岩澤 利雄	75	75	白鳥 厚夫	125	100	森永 健	125	100			
植田 清司	150	75	須永 久一	100	75	矢野 修二	100	100			
梅崎 興生	100	75	田口健太郎	100	50	山木 幹夫	75	75			
江森 国一	175	100	竹山 洋	100	0	山崎 善也	50	25			
大河原 理	75	75	但野真実子	100	75	山田 正憲	325	100			
鴻 義久	25	25	田中龍太郎	100	100	山本 登	100	25			
大橋 秀行	0	0	田邊 正彦	100	75	山本 芳弘	100	100			
岡部雄一郎	125	75	月山 勇	100	100	横溝 亘	125	100			

月平均 93.15%